

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	A to Z Academy 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2024年8月14日		~ 2024年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年8月14日		~ 2024年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に応じた支援、専門職員による創意工夫。	個々の職員の意見の発信や療育プランの考案を促進している。	お子様の変化を伝達しやすい環境を今後も構築してまいります。ここに応じた対応を大切にし、些細な変化も連携する体制を構築し続けます。
2	保護者様との密な連携によりお子様の変化に対する即時対応。	保護者様と保護者間の話しやすい関係性の構築を大切にしております。些細なことでも話しやすいよう関係性の構築を目指してまいりました。	意思疎通の機会を増やすためシステムの利用強化を図る。
3	保育園・幼稚園・関係機関との連携。	送迎時にできる限り園の先生との連携に努めております。	必要に応じて他事業所併用のお子様についても事業所間連携を強化しております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備上では大きな事業所ではない点	スペースの使い方次第では手狭に感じる可能性がある。	指導訓練室を有効活用し、子供たちが活動しやすいスペースの割振りを実施する。
2	ご家庭同士の活動の機会が少ない	就労している保護者様が多く、同じ日にお集まりいただく機会の創出が難しい状況です。イベントなどを通して機会の創出を実施したいと考えております。	個々のご家族に応じた情報を共有することで保護者のご支援を行ってまいります。
3	放課後等デイサービスへの移行後、大人になる過程での支援	障害児通所支援事業において最大限お子様の支援をする中で、就労支援として引き続きサポートはできていない。	就労移行支援事業所を運営していないため、今後開所検討段階にある。成人した後も継続支援できるよう努めてまいります。